

# ともに考えよう! 佐渡のあした

## 基本理念

豊かな自然、  
薫り高い文化  
活気あふれる  
新しい島づくり



佐渡市町村合併協議会  
会長 小田初太郎

「あいさつ」

両津市、相川町、佐和田町、金井町、新穂村、畑野町、真野町、小木町、羽茂町、赤泊村では、佐渡市町村合併協議会を組織し、平成16年3月の合併に向けていろいろな話し合いを進めているところです。

このたび、合併後の新しいまちづくりをすすめる上で、住民の皆さんと「いっしょに考えるよい機会」とするため、新潟県をはじめとした多くの方々の「支援のもと、市町村合併公開セミナー」まちづくりと市町村合併」を開催することになりました。

一島一市への合併は、21世紀の新しい時代をひらき、佐渡島の飛躍的な発展をもたらすものと確信しています。合併後の望ましいまちづくりをすすめるため、これまでもまして住民の皆さんの理解とご協力を賜りたいと思います。

## 新市将来構想とは.....

将来構想は、合併特例法など法律で、その策定を義務付けられているものではありません。

将来構想策定の本来の目的は、合併関係市町村が、合併した場合の「将来のイメージ」を住民の皆さんに示して、住民の皆さんが合併を考えるうえでの、判断材料を提供することにあります。

佐渡の場合は、民間の方々を中心に70名で構成する新市ビジョン検討委員会を設置して、昨年7月に新市の将来構想を答申して頂きました。その結果、基本理念を「豊かな自然、薫り高い文化 活気あふれる新しい島づくり」とし、それを実現するための3つの目標を「充実した生活基盤」「魅力ある就業環境」「人が輝く交流促進」と決めました。

## 新市建設計画とは.....

建設計画は、合併特例法でその策定が義務づけられています。

建設計画の目的は、将来構想で策定したまちづくりビジョンの内容を基軸として、合併後の新市を建設していくための具体的な施策を示し、合併市町村の一体性を促進し、魅力ある地域づくりと住民福祉の向上を図っていくための、いわば新市のマスタープランとなるものです。

そのため、長期的な視野に立ち、一般的には概ね合併する年度から5~10年間を計画期間として定めるのが通例です。

建設計画については、現在合併協議会において協議中です。

## 新市建設の三つの柱

### 充実した生活基盤

歴史・文化的資源や恵まれた自然環境を背景として、健康福祉サービスの充実と住民一人ひとりが心豊かな生活を実感できる「ゆとり」と「うるおい」のまちづくりを推進します。

自然と調和のとれた安全と安心感のまちづくり  
自然と共生するまちづくり

安全安心のまちづくり  
健やかで思いやりあふれるまちづくり

### 魅力ある就業環境

地場産業の振興と観光産業の育成、佐渡観光のイメージアップと受入れ態勢の一層の充実を図り、若者が定着する魅力と活力にあふれたまちづくりを推進します。

豊かな暮らし、魅力と活力のあるまちづくり

### 人が輝く交流促進

様々な分野で住民が主体となり、地域及び都市住民との交流・連携を促進し、住民参加のまちづくりを推進します。

文化を大切に二人ひとりを育むまちづくり  
住民主役であふれあいにぎわいのまちづくり

スリムで効率的な行財政のまちづくり